



arcserve®

オンプレミスからクラウドまで、あらゆるニーズに応える統合バックアップ・リカバリ ソリューション

Arcserve® Unified Data Protection

ニーズに応じた豊富な機能をもち、目的に応じたバックアップを実現



**バックアップを
誰でも手軽に、簡単に**

一人だけの情シスでも
運用やランサムウェア対策が簡単



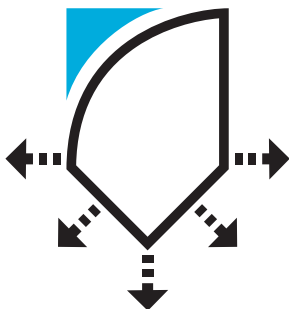
**物理／仮想／クラウドも
まとめて管理**

WindowsやLinux
そしてクライアントPCにも対応



**災害対策と業務継続
サイバーレジリエンス強化**

遠隔地での保管や、イミュータブル
バックアップで、ビジネスを早期復旧

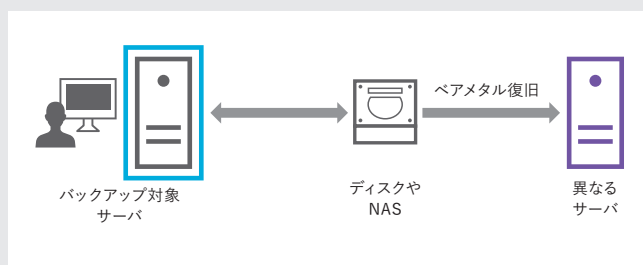


単一サーバから複雑な環境まで、 バックアップをもっと 「手軽」に「シンプル」に

Arcserve Unified Data Protection(UDP)は、Windows や Linux のスタンドアロンサーバはもちろん、システム全体をシンプルに管理し、バックアップ・リカバリできます。

単一サーバのバックアップ・リカバリ

サーバを「丸ごとバックアップ」し、「丸ごと戻す」ことができます。専門知識の無いユーザでもバックアップ／リカバリできる簡単さと運用負荷を軽減する高度な機能を標準で備えています。バックアップ対象は、Windows、Linux だけではなく、その上で稼働するアプリケーションやデータベースも無停止でバックアップできます。

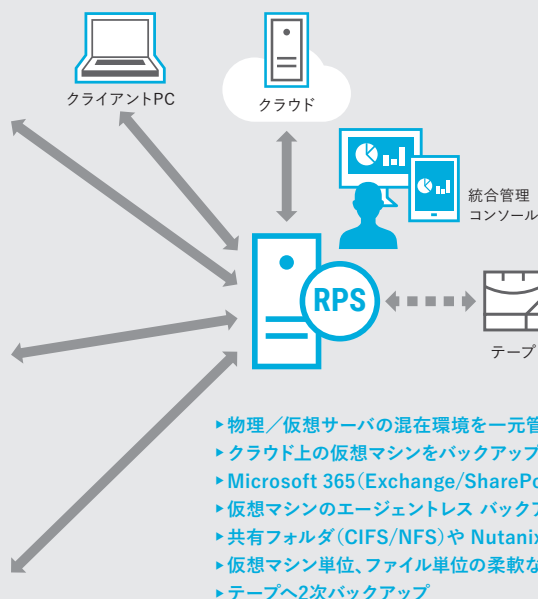
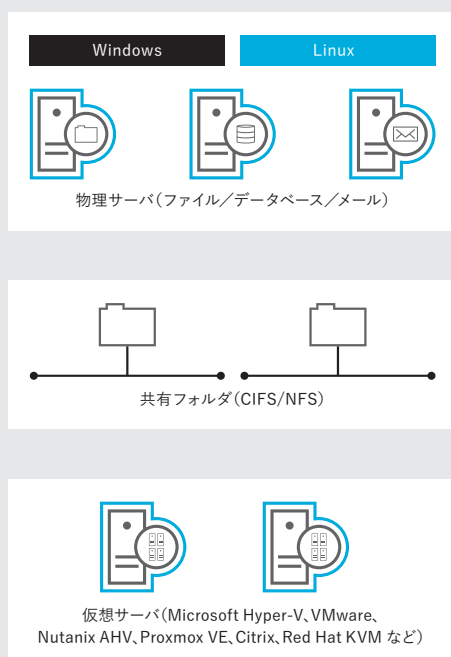


- ▶ 簡易な操作性
- ▶ わずか10分の簡単インストール
- ▶ 異なるサーバへの丸ごと復旧(ベアメタル復旧)
- ▶ Microsoft Active Directory、Microsoft SQL Server、Microsoft Exchange Server、Microsoft SharePoint Server、Oracle Database
- ▶ フォルダ／ファイル単位、データベース単位復旧
- ▶ エクスプローラからのリストア

P.4 | 誰でも手軽に、簡単に

物理・仮想サーバからクラウドまで、混在環境を統合バックアップ・リカバリ

企業内の物理サーバ、仮想サーバ、クライアントPCなど複雑化するシステム環境のバックアップ／リカバリ運用を統合して行うことができます。対象が多くても統合コンソールから同一の操作性で全てを管理することで、IT管理者の運用負荷を大幅に削減します。



- ▶ 物理／仮想サーバの混在環境を一元管理
- ▶ クラウド上の仮想マシンをバックアップ
- ▶ Microsoft 365 (Exchange/SharePoint/OneDrive/Teams)
- ▶ 仮想マシンのエージェントレス バックアップ
- ▶ 共有フォルダ(CIFS/NFS)や Nutanix Files のバックアップ
- ▶ 仮想マシン単位、ファイル単位の柔軟なリストア
- ▶ テープへ2次バックアップ

P.5 | 仮想化基盤の運用をシンプルに

コンポーネント

要件に併せて3つのコンポーネントを柔軟に配置できます。



エージェント

バックアップ対象サーバに導入します。エージェント単体でバックアップの運用管理を行います。



統合管理コンソール(サーバ)

複数台の保護対象(サーバ/クライアントPC)のバックアップ/リカバリやエージェントレスのバックアップの統合管理を行うことができます。また、復旧ポイントサーバ(RPS)を管理します。

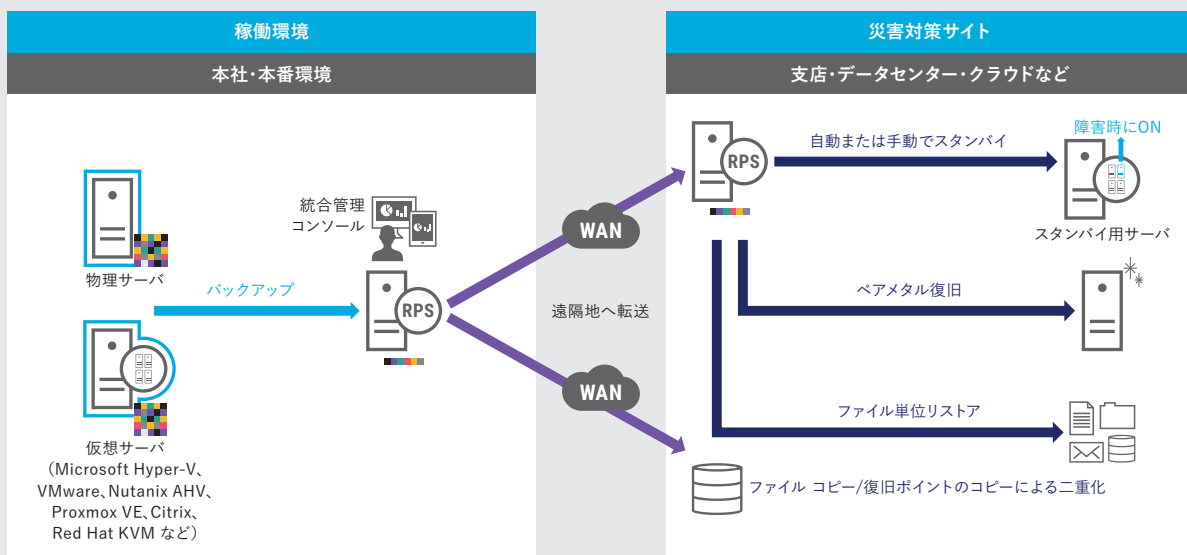


復旧ポイントサーバ(RPS)

バックアップデータの格納庫として重複排除や遠隔転送などを行います。

災害対策サイト/データセンターでのデータ保管/スタンバイ

災害発生時にも企業は業務を止めることができません。Arcserve UDP は、バックアップデータを遠隔地に転送したり、バックアップデータから仮想マシンを自動生成(スタンバイ)させ、リストアするよりも速い業務再開を実現する機能などを標準で搭載しています。さらに、導入が進むクラウドへのファイルコピーやクラウドサーバのバックアップなどにも対応します。



標準機能

- ▶ バックアップデータの重複排除
- ▶ バックアップデータの転送
- ▶ 仮想スタンバイサーバの自動・手動生成
- ▶ マルチテナントストレージ機能
- ▶ インスタント VM

Premium/Premium Plus エディション

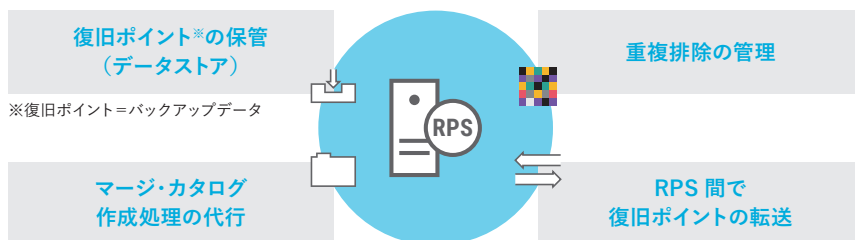
- ▶ リアルタイム ファイルサーバ複製
- ▶ リアルタイム アプリケーションデータ複製

P.5 | クラウド対応

P.6 | 業務継続・災害対策

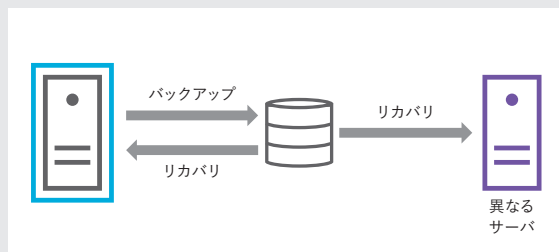
バックアップを効率化する復旧ポイントサーバ(RPS)で使える機能

復旧ポイントサーバを導入することで、Windows や Linux など保護対象が多い環境のバックアップ/リカバリ、および災害対策を効率的に行えます。



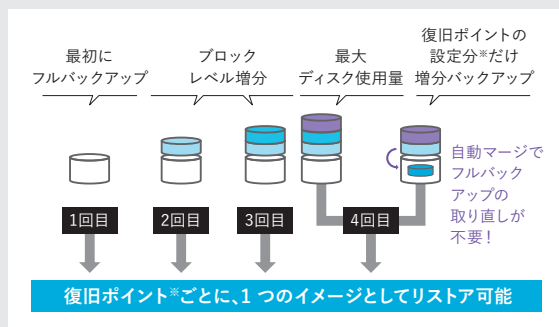
丸ごとバックアップし、
丸ごと戻す

OS、アプリケーション、データとシステム全体を簡単に「丸ごとバックアップし」、「丸ごと元に戻す」ことが可能です。専門的な知識や複雑な設定は一切ありません。



フルバックアップは初回のみ
継続的な増分バックアップ

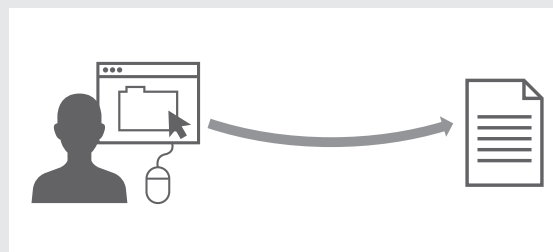
初回のフルバックアップ以降は、変更ブロックのみを増分バックアップし続けることでバックアップデータを削減し、バックアップ時間を短縮します。設定した世代数を超えると一番古い増分バックアップとフルバックアップを自動的に合成(マージ)するので、フルバックアップの取り直しが必要ありません。



※図は復旧ポイントの保存数を3個に設定した場合。初期設定では7個(最大1,440個)。

消してしまったファイルも エクスプローラから簡単にリストア

ファイル・フォルダ単位でリストアする機能も備えています。慣れ親しんだエクスプローラ画面で、カット＆ペーストするだけで誰でもデータを簡単に戻せます。



バックアップデータの 復旧テスト

バックアップ完了後、復旧ポイント(バックアップデータ)で復旧テストを実行します。このテストは、インスタント VM の起動確認、または復旧ポイントをマウントしたファイル システムの健全性確認の2種類から選択できます。また、転送先でもテストを行うことができます。さらにランサムウェアなど悪意のあるファイルの検出も可能です。



IT管理者の運用負荷を軽減

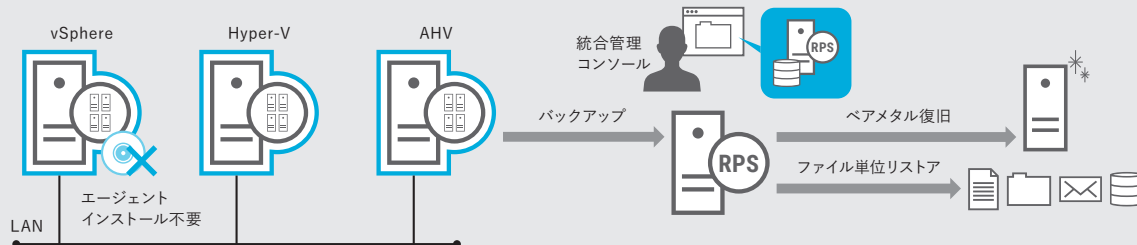
初心者でも使える管理画面になっています。さらに、仮想/物理、Windows/Linux、クラウドを同じ画面で管理できる統合管理コンソールやレポートで大規模環境のIT管理者も強力にサポートします。いずれの画面も WEB インターフェイスなので、操作する場所を選ばないこともポイントです。

[illegible]

仮想化基盤の運用をシンプルに

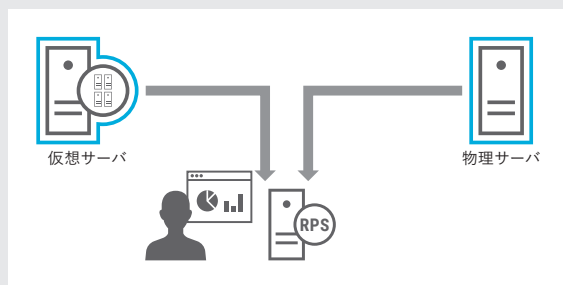
仮想化基盤側で設定が完了。エージェントレス・バックアップ

VMware vSphere 環境でも、Microsoft Hyper-V 環境や Nutanix AHV 環境でも、Windows と Linux の各仮想マシンにエージェントを導入することなく、バックアップが行えます。エージェントレスでありながら、継続的な増分バックアップや仮想マシンの中にあるファイルやフォルダだけをリストアすることもできます。



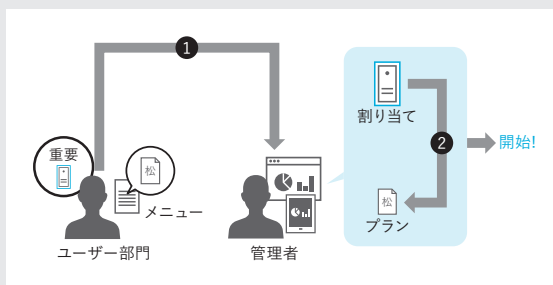
仮想も物理も 統合管理

仮想環境だけでなく、物理環境ももちろん統合してバックアップできます。さらに物理サーバと仮想マシンのバックアップをすべて同じ画面で管理できる点も Arcserve UDP の強みです。



バックアッププランのテンプレート化で 運用管理の負荷を軽減

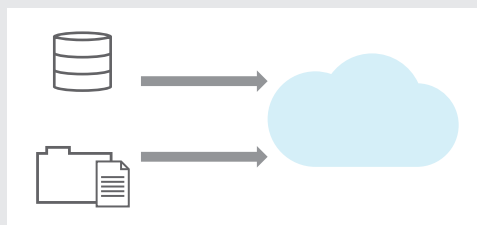
バックアップ方法をあらかじめメニュー化しておくことでシステムごとに要件を定めて設計する手間がなくなります。ユーザー部門に、システムの重要性に合わせてプランを選択してもらい、あとは対象システムを選択されたプランに割り当てただけでバックアップが開始できます。



クラウド対応

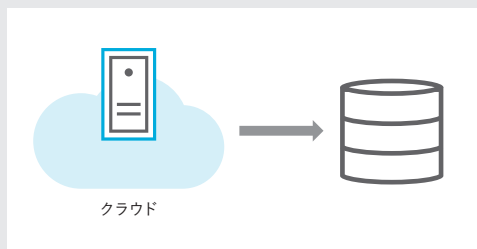
クラウドへ復旧ポイントコピー／ファイル コピー

復旧ポイントをクラウドへコピーやバックアップデータからファイルを抽出してコピーできます。オブジェクト ロックが有効なストレージに復旧ポイントをコピーすることでランサムウェア対策を強化できます。



クラウド上の仮想マシンをバックアップ

すべての仮想マシンにエージェントを導入してバックアップすることができます。またバックアップデータの転送先として利用できます。



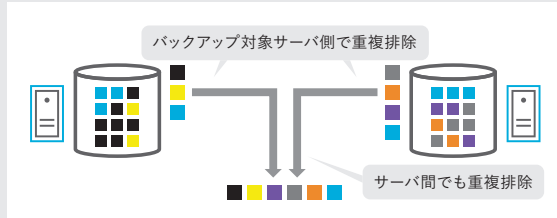
クラウド サーバ上への 仮想スタンバイ

Amazon EC2、Microsoft Azure および Google Cloud 上のインスタンスへスタンバイが作成できます。パブリック クラウドを使用した業務継続を強化できます。Windows のバックアップ環境をオンプレミスからクラウドへ簡単に移行することができます。



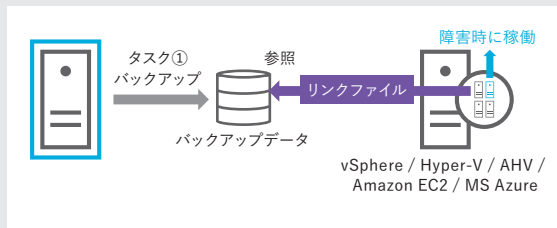
バックアップデータの重複排除

バックアップ対象サーバ(エージェント)側で重複を排除しバックアップします。重複排除済みのデータがネットワーク転送されます。また、バックアップデータ用のディスク使用量を大幅に削減することができます。



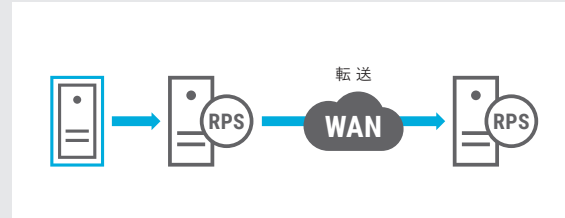
障害発生時にリカバリ不要で業務を素早く再開

障害発生時にウィザードを利用して「インスタント VM」を作成することで、仮想マシン経由でバックアップデータを参照して一時的に業務を再開することができます。リストアの時間を短縮できるためビジネスの機会損失を回避します。リモートヘインスタント VM する場合は、RPS が必要です。



バックアップデータの遠隔転送

標準機能である復旧ポイントサーバを複数導入する事で、バックアップデータを効率よく遠隔地に複製できます。



スタンバイサーバを使って業務を迅速に再開

バックアッププランにて、あらかじめスタンバイ用の仮想基盤上にリストアしておきます。本番サーバ/サイトで障害や災害が発生したときには、仮想マシンを起動するだけで代替運用が可能です。スタンバイ用の仮想基盤を設定すれば災害時の継続運用も行えます。リモートへ仮想スタンバイする場合は、RPS が必要です。



※Windows 環境でご利用いただけます。

イミュータブルストレージ※

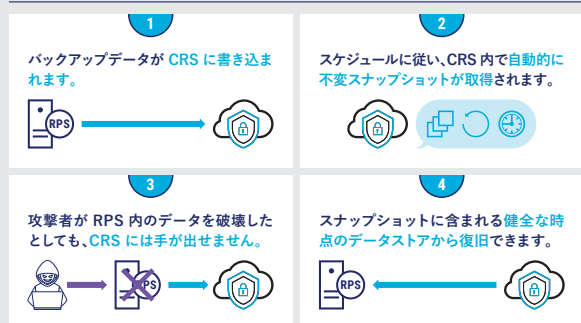
Arcserve Cyber Resilient Storage(CRS)シリーズ

Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ(RPS) データストアのデスティネーションとしてクラウドとオンプレミスの2種類のイミュータブルストレージを提供します。



※ イミュータブルストレージとは、一度書き込まれたデータを変更・削除できないようにするストレージです。ランサムウェア攻撃や誤操作によるデータ消失から、重要なデータを保護するために利用されます。

ランサムウェアからの復旧シナリオ



その他の豊富な機能

アシュアード セキュリティ - AI 異常検出	増分バックアップデータをスキャンすることで、本番サーバにおける暗号化、大量削除、一括リネーム、不審なファイルの作成といった異常な振る舞いを検出し、サイバー攻撃の早期検出を可能にします。
アシュアード セキュリティ - マルウェアスキャン	バックアップデータの安全確認のため、データをマウントしてスキャンします。スキャンはリストア前の任意のタイミングで実行できるほか、バックアップ/レプリケート ジョブの後に定期的に行うこともできます。
アシュアードリカバリ	バックアップデータがリストア可能であることを自動で確認し、結果をメールで通知できます。
コマンドラインインターフェース	ジョブの実行、監視を行う運用管理ツールとの連携を容易にします。コマンドからバックアップ/ リストアなどを実行できるため、ジョブネットに組み込んでシステム運用の一部としてバックアップを管理できます。
スケジュール設定	日次・週次・月次での設定はもちろん、指定曜日の除外といったバックアップスケジュールの柔軟な設定が可能です。
バックアップデータの暗号化	AES256/192/128ビットでバックアップデータを暗号化できます。これによりデータを安全に保管します。

Arcserve UDP ライセンス一覧(含まれる機能一覧)

エディション バックアップ要件	サーバ用エディション			クライアント用 エディション		同梱ライセンス
	Advanced/ for Nutanix	Premium	Premium Plus	Workstation	Appliance	
イメージ バックアップ / 共有フォルダ(CIFS/NFS)のバックアップ	✓	✓	✓	✓	✓	Arcserve UDP
重複排除	✓	✓	✓	✓	✓	
バックアップデータの遠隔転送	✓	✓	✓	✓	✓	
統合管理	✓	✓	✓	✓	✓	
仮想マシンのエージェントレスバックアップ	✓	✓	✓		✓	
仮想スタンバイ	✓	✓	✓	✓	✓	
インスタント VM	✓	✓	✓		✓	
VSS ライターを利用したアプリケーションの オンライン バックアップ	✓	✓	✓	※1	✓	
アシュアード リカバリと SLA レポート	✓	✓	✓		✓	
バックアップ データのテープ保管※2	✓	✓	✓		✓	Arcserve Backup
Oracle RMAN 方式のオンラインバックアップ		✓	✓		オプション	
ストレージのハードウェア スナップショット対応 (NetApp / HPE 3PAR / NIMBLE / DELL)		✓	✓		オプション	
アシュアード セキュリティ (マルウェア スキャン / AI 異常検出)		✓	✓		オプション	
クラウド(AWS / Azure / Google Cloud) データ ストア		✓	✓		オプション	
役割ベースの管理		✓	✓		オプション	
Arcserve Backup 全機能※3		✓	✓		オプション	Arcserve Replication/HA
Arcserve Replication ファイル サーバのデータ複製		✓	✓		オプション	
Arcserve Replication アプリケーション サーバのデータ複製※3			✓		オプション	
Arcserve High Availability ファイル / アプリケーション サーバの自動切替※3			✓		オプション	
バックアップデータを イミュータブルストレージへ保管・複製						Arcserve Cyber Resilient Storage シリーズ

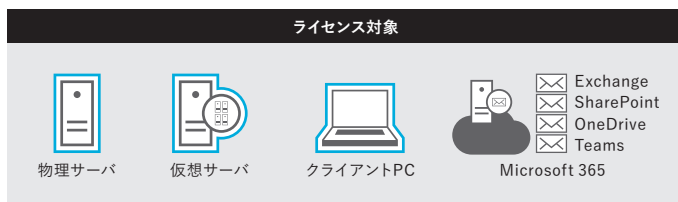
※1 Microsoft SQL Server Express Edition のみオンライン バックアップをサポートします。 ※2 Arcserve Backupのインストールが必要です。 ※3 日本でサポートされている機能・動作要件が対象です。

動作要件 詳細は弊社 Web をご覧ください。

対応 OS	アプリケーション	仮想環境/クラウド
Windows Server 2025 / 2022 / 2019 / 2016 / Windows Storage Server 2016 / Windows IoT for Storage 2025 / 2022 / 2019 / Windows 11 / 10 / Linux(Red Hat, SUSE, CentOS, Oracle Linux, Debian, Ubuntu, AlmaLinux, Rocky)	Microsoft Active Directory/ Microsoft Exchange/ Microsoft SQL Server/ Microsoft SharePoint/Oracle Database	VMware/Microsoft Hyper-V/ Nutanix AHV/ Amazon EC2/Microsoft Azure/ Google Cloud 他

ライセンスの考え方

課金の対象となるのは、バックアップ対象のみです。バックアップ対象数またはバックアップ対象サーバのソケット数でライセンスを適用します。コンソールおよび Recovery Point Server(RPS:復旧ポイントサーバ)のライセンスは、不要です。



※Arcserve Replication/High Availability 機能を利用する場合、ライセンスは複製元と複製先サーバ（物理/仮想ホスト）のソケットの合計数が必要です。

ライセンスの種類

サーバ台数
保護対象の物理サーバの台数分で課金されるライセンス体系です。

CPU ソケット数
保護対象サーバで利用されている CPU ソケット数分で課金されるライセンス体系です。物理・仮想環境に対応しています。

データ容量
保護対象サーバの総データ容量で課金されるライセンス体系です。

価格(税抜 ※カッコ内は総額表示) 本価格表以外にアカデミックライセンスのご用意があります。

エディション ^{※1}	サーバ単位(Server)			ソケット単位(Socket)		
	ライセンス+メンテナンス 1年	ライセンス+メンテナンス 5年 ^{※5}	サブスクリプションライセンス1年	ライセンス+メンテナンス 1年	ライセンス+メンテナンス 5年 ^{※5}	サブスクリプションライセンス1年
Advanced Edition	¥151,000 (¥166,100)	¥259,000 (¥284,900)	¥52,000 (¥57,200)	¥258,000 (¥283,800)	¥446,000 (¥490,600)	¥89,000 (¥97,900)
Advanced Edition for Nutanix ^{※2}	-	-	-	¥258,000 (¥283,800)	¥446,000 (¥490,600)	¥89,000 (¥97,900)
Premium Edition	-	-	-	¥504,000 (¥554,400)	¥860,000 (¥946,000)	¥172,000 (¥189,200)
Premium Plus Edition	-	-	-	¥755,000 (¥839,500)	¥1,287,000 (¥1,415,700)	¥258,000 (¥283,800)

エディション ^{※1}	容量単位(1TB 単位) ^{※3}	
	サブスクリプションライセンス1年	サブスクリプションライセンス5年
Advanced Edition	¥251,000 (¥276,100)	¥1,255,000 (¥1,380,500)
Premium Edition	¥498,000 (¥547,800)	¥2,490,000 (¥2,739,000)
Premium Plus Edition	¥744,000 (¥818,400)	¥3,720,000 (¥4,092,000)

クライアントPC用製品 ^{※1}	ライセンス+メンテナンス 1年	ライセンス+メンテナンス 5年 ^{※5}
Workstation Edition 1本	¥20,300 (¥22,330)	¥34,300 (¥37,730)
Workstation Edition 5本	¥80,000 (¥88,000)	¥140,000 (¥154,000)

Microsoft 365用製品サブスクリプション			メディアキット ^{※4}	
10ユーザ	サブスクリプションライセンス1年	¥62,000 (¥68,200)	¥20,000 (¥22,000)	

Arcserve Cyber Resilient Storage シリーズ		
Arcserve Cyber Resilient Storage - 1TB		¥47,000 (¥51,700)
Arcserve Cloud Cyber Resilient Storage - 1TB		¥66,000 (¥60,000)

※1 新規購入の際、ライセンスおよびメンテナンスの購入が必要です。詳細は弊社 Web サイトをご覧ください。 ※2 Nutanix 専用のライセンスです。 ※3 バックアップ(または複製)対象の総データ量に対して課金されるライセンスです。本価格は、1TB(テラバイト)に対するライセンス金額です。 ※4 ライセンスプログラムで購入した製品をインストールするためのメディアです。ライセンスプログラムを初めてご購入いただく際はメディアキットをご購入いただくか、もしくはモジュールを Web からダウンロードしてご利用ください。 ※5 メンテナンス/サブスクリプション期間は、ご購入時の製品のバージョンのサポートをお約束するものではありません。サポートの対象バージョンは、その時点でサポートする製品バージョンに準じます。サポート対象バージョンは、サポートライフサイクル情報で確認できます。



arcserve®

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
Copyright © 2026 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Japan

お問い合わせ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
お問い合わせ窓口：Arcserveジャパンダイレクト(0120-410-116)
JapanDirect@arcserve.com

WEBサイト：https://www.arcserve.com/jp

※記載事項は変更になる場合がございます。 2026年8月現在

Arcserve Japan
WEBサイト

